

天溪 2013 年「ピレネー国境横断トレック 11 日間」

第 2 部

旅の後半は国境越えから。ピレネー山脈はご存じフランスとスペインの国境線に連なり、東は地中海から西はビスケー湾に至る全長約 430Km の山脈。古くは交易ルートとして、また聖地サンチャゴ・デ・コンポラへ向かう巡礼道も通っています。この度はローランの伝説による「ローランの裂け目」を通る国境越えのハイキングを行ってきました。この地はレコンキスタでキリスト、モスリムが数百年に渡りせめぎ合ったところでも有ります。



(雷鳥・ターミガン 9/23 日)

○国境越 2 日目 (ゴリッツ小屋)

サラダ小屋を出てモレーンに取りつき、テラスに登るとローランの裂け目が目の前に。裂け目の直下まで急な雪渓が続きましたが難なくクリアー。稜線からは、フランス側にガバルニー圏谷、スペイン側にオルデッサ溪谷が見渡せました。ここから先のルートは再び雪渓通過が有るので、一端カールを右に巻き込みながらガレ場を下り本道へ。その後、お花畑のなかを進むとエーデルワイスを発見！



(ガヴァルニー圏谷 8/24 日)





○国境越え 3 日目

オルデッサ溪谷の標高差 900m を下りトルラへ向かいました。ピレネーは花の多い所として人気ですが小屋を出て少し下るとアイリス群生が。アヤメそっくりのこの花はこの溪谷となんとなく不釣り合いな感じ (筆者)。ここは溪谷の中腹を通るコースと谷底を通るコースの 2 コースが有り、この度は簡単な谷底コースでトルラへ。とは言え米国コロラド溪谷に匹敵する世界遺産のオルデッサ溪谷を堪能しました。



(オルデッサ溪谷 8/25 日)

(アイリス)



○バルセロナ

巡礼街道、歴史的な伝説ローラン、そして複合世界遺産の次はガウディの原点を訪ねモンセラートそしてサグラダファミリアの文化遺産へ。ハイキング専門の天溪は旧跡見学や市内観光は行いませんが特別に。(専門外で筆者は疲労) 夜はコロンプスの像の近くでパエリア・シーフード、そして美味しいワインをいただき、最終日にピカソ美術館を見学して山と文化の旅を締めくくりました。



天溪ツアーはこの後 8 月 28 日発 「ツールドモンブラン 10 日間」と続きます。

記 天溪 赤沼